

令和6年度
高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定審議会(第1回)

[会議次第]

1. 開 会
2. 保健福祉部長あいさつ
3. 議 題
 - (1) 阿南市高齢者福祉計画・第9期阿南市介護保険事業計画の実施状況について
 - (2) 地域包括ケアシステムのあり方について
 - (3) 保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果について
 - (4) その他
4. 閉 会



と き 令和7年2月19日(水) 午後1時30分～
ところ 阿南市役所 6 階 603・604会議室

目 次

(1) 阿南市高齢者福祉計画・第9期阿南市介護保険事業計画の 実施状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2) 地域包括ケアシステムのあり方について・・・・・・・・	26
(3) 保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果について・・・・・・・・	27
(4) その他資料・・・・・・・・・・・・・・・・	31
阿南市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定審議会委員名簿	32

1 阿南市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の実施状況

(1) 被保険者数の見込量と実績の比較

被保険者数の計画と実績を比較すると、第1号被保険者数の合計では、令和4年度が100.7%、令和5年度が100.8%と概ね計画どおりの実績となっています。前期高齢者(65～74歳)及び後期高齢者(75歳以上)は、令和4年度の前期高齢者がやや計画値を上回っていますが、ほぼ計画どおりの実績となっています。

【被保険者数】

(単位:人)

区分		令和4年度	対比(%)	令和5年度	対比(%)	令和6年度	対比(%)
第2号被保険者(40～64歳)	計画	21,702	103.1	21,492	103.1	21,281	103.9
	実績	22,384		22,152		22,102	
第1号被保険者(65歳以上)	計画	23,494	100.7	23,423	100.8	22,844	102.5
	実績	23,667		23,606		23,418	
前期高齢者(65～74歳)	計画	10,571	102.5	10,174	101.1	9,634	101.7
	実績	10,835		10,289		9,802	
後期高齢者(75歳以上)	計画	12,923	99.3	13,249	100.5	13,212	103.1
	実績	12,832		13,317		13,616	

※「介護保険事業状況報告(年報)」より(令和6年度は令和7年1月分月報より)

(2) 要介護(要支援)認定者数の見込量と実績の比較

要介護(要支援)認定者数の計画と実績を比較すると、合計人数での対比では令和4年度から令和6年度見込で概ね計画どおりの実績となっていますが、個別の区分では、令和4、5年度の要支援2及び要介護5の乖離が大きくなっており、令和6年度の第9期計画値で目標値の補正をしたことで、乖離はすくなくなっています。

【要介護(要支援)認定者数】

(単位:人)

区分		令和4年度	対比(%)	令和5年度	対比(%)	令和6年度	対比(%)
要支援1	計画	382	92.4	386	103.9	376	103.7
	実績	353		401		390	
要支援2	計画	515	105.0	520	114.6	614	101.3
	実績	541		596		622	
要介護1	計画	961	100.4	969	98.2	982	97.6
	実績	965		952		958	
要介護2	計画	783	91.7	793	93.6	769	100.0
	実績	718		742		769	
要介護3	計画	676	101.0	683	97.2	703	99.6
	実績	683		664		700	
要介護4	計画	658	104.7	666	99.5	696	97.4
	実績	689		663		678	
要介護5	計画	511	89.0	515	86.0	420	102.9
	実績	455		443		432	
合計	計画	4,486	98.2	4,532	98.4	4,560	99.8
	実績	4,404		4,461		4,549	

※「見える化」より

(3) 介護給付費の見込量と実績の比較

介護給付費の計画と実績を比較すると、令和4年度、令和5年度ともに計画を下回っています。また、令和5年度から予防給付費が増加に転じ、令和6年度も同様の傾向となっています。

【介護保険事業費】

(単位:千円)

区分		令和4年度	対比(%)	令和5年度	対比(%)	令和6年度	対比(%)
保険給付	計画	8,148,869		8,237,480		8,208,025	
	実績	7,856,105	96.4	7,813,952	94.9	7,913,840	96.4
介護給付	計画	7,964,348		8,048,474		8,015,063	
	実績	7,679,090	96.4	7,622,567	94.7	7,705,666	96.1
予防給付	計画	184,521		189,006		192,962	
	実績	177,015	95.9	191,385	101.3	208,174	107.9
地域支援事業	計画	253,900		253,900		275,808	
	実績	221,716	87.3	237,083	93.4	241,293	87.5
介護予防・日常生活支援総合事業	計画	154,028		154,028		157,795	
	実績	113,414	73.6	132,548	86.1	129,867	82.3
包括的支援事業・任意事業	計画	99,872		99,872		118,013	
	実績	108,302	108.4	104,535	104.7	111,426	94.4
合計	計画	8,402,769		8,491,380		8,483,833	
	実績	8,077,821	96.1	8,051,035	94.8	8,155,133	96.1

※「介護保険事業状況報告(年報)」(令和6年度は令和7年1月審査月分までから推計)

【介護給付費(予防給付も含む)】

(単位:円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1)居宅サービス	2,798,839,673	2,907,027,195	2,992,692,595
訪問介護	406,603,467	405,440,703	382,007,774
訪問入浴介護	17,302,894	15,131,451	18,158,245
訪問看護	171,089,362	167,894,013	165,483,980
訪問リハビリテーション	50,513,088	55,556,299	78,639,620
居宅療養管理指導	57,557,482	61,826,179	65,521,296
通所介護	657,838,686	687,718,073	743,770,730
通所リハビリテーション	413,117,380	434,071,814	420,234,196
短期入所生活介護	354,998,379	386,400,695	422,369,861
短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	26,752,276	25,432,275	19,739,858
短期入所療養介護 (介護療養型医療施設等)	0	0	0
短期入所療養介護 (介護医療院)	82,125	0	705,532
福祉用具貸与	215,222,545	226,413,108	225,795,023
特定福祉用具購入費	8,400,369	9,394,003	9,588,424
住宅改修費	20,424,110	22,003,379	23,407,972
特定施設入居者生活介護	59,117,089	69,056,059	68,846,573
居宅介護支援	339,820,421	340,689,144	348,423,511
(2)地域密着型サービス	1,681,335,923	1,674,498,618	1,687,516,726
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1,149,130	0
地域密着型通所介護	281,228,349	280,980,359	273,054,205
認知症対応型通所介護	19,100,586	24,340,887	26,130,757
小規模多機能型居宅介護	463,790,596	441,949,239	450,290,672
認知症対応型共同生活介護	623,184,466	640,813,783	655,928,590
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	189,529,481	189,606,557	186,139,266
看護小規模多機能型居宅介護	104,502,445	95,658,663	95,973,236
(3)施設サービス	2,922,696,466	2,790,429,404	2,785,161,452
介護老人福祉施設	1,347,796,294	1,350,480,600	1,410,601,396
介護老人保健施設	1,180,154,727	1,096,542,891	1,031,296,757
介護療養型医療施設	69,949,273	4,114,828	399,804
介護医療院	324,796,172	339,291,085	342,863,495
総計	7,402,872,062	7,371,955,217	7,465,370,773

※「介護保険事業状況報告(年報)」より(令和6年度は令和7年1月審査月分までから推計)

(4) 施策の展開

基本目標 1 介護予防事業の充実と社会参加の促進による地域づくり

(1) 介護予防事業の充実と健康の保持	①一般介護予防事業
	②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
	③健康増進事業
	④はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業
(2) 社会参加の促進と地域づくり	①高齢者の就業支援
	②セニヤクラブ（老人クラブ）活動の促進
	③生涯学習等の支援
	④災害時ボランティア活動の支援
	⑤高齢者バス乗車券・福祉特定回数乗船券の交付事業
	⑥高齢者タクシー利用料助成事業
	⑦高齢者の多様な交流の場の提供
	⑧長寿者福祉金等支給事業
	⑨敬老祝賀事業

(1) 介護予防事業の充実と健康の保持

① 一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

本市や関係機関が所持する情報の有効活用により閉じこもり等何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげることを目的とした事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
戸別訪問件数	60件	60件	60件
支援等につなげた件数	6件	6件	6件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
戸別訪問件数	130件	183件
支援等につなげた件数	12件	27件

イ 介護予防普及啓発事業

介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、パンフレットの配付や講座等を開催する等、地域における自主的な介護予防の活動を支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護予防教室の開催回数	30回	30回	30回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度 (R6.12 現在)
介護予防教室の開催回数	13回	11回

○阿南市介護予防啓発パンフレット

令和6年度に（Let's 健康長寿）第3版を発行し、地域住民に配付しております。



ウ 地域介護予防活動支援事業

年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資すると判断する住民主体の「通いの場」等の活動を地域の実状に応じて効果的かつ効率的に支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいき100歳体操グループ数	75グループ	75グループ	75グループ
あななんサロングループ数	60グループ	60グループ	60グループ
介護支援ボランティアの人数	5人	8人	10人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度 (R6.12 現在)
いきいき100歳体操グループ数	70グループ	70グループ
あななんサロングループ数	56グループ	57グループ
介護支援ボランティアの人数	9名	3名

○あななんサロン交流会の実施（R5.9.28 実施 R6 年度は圏域単位で実施）

各あななんサロン参加者への意欲向上及び地域への活動紹介による継続に係る支援や情報共有を目的として実施しています。

○いきいき100歳体操交流会（R5.11.29 実施 R7.3.5 実施予定）

いきいき幸齢者表彰（90歳以上の参加者対象）等を実施し、参加意欲向上や他の団体との交流を通じて活動継続に係る支援を実施することを目的として開催しています。



オ 地域リハビリテーション活動支援事業

リハビリテーションに関する知見を有する専門職が高齢者の有する能力を評価し、改善の可能性を助言する等、住民主体の通いの場等の介護予防の取組を総合的に支援する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいき100歳体操グループへの理学療法士の派遣回数	75回	75回	75回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12 現在）
いきいき100歳体操グループへの理学療法士の派遣回数	68回	57回

② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 保健センター事業

高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）と通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）の2つの手法により高齢者の介護予防に対する支援に取り組む事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ハイリスクアプローチの実施件数	1,300件	1,300件	1,300件
ポピュレーションアプローチの実施件数	16件	16件	16件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
ハイリスクアプローチの実施件数	741件	548件
ポピュレーションアプローチの実施件数	21件	26件

③ 健康増進事業

ア 生活習慣病 保健センター事業

高血圧、糖尿病、高脂血症等が起因する生活習慣病に関する講演会を実施し、生活習慣病の早期発見につながる啓発事業の推進

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
生活習慣病講演会の開催回数	1回	1回	1回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
生活習慣病講演会の開催回数	1回	1回

イ 各種検診事業 保健センター事業

健診診査やがん検診などの健康増進事業の充実により、生活習慣病などの早期発見・早期治療を行い、健康の保持・増進を図る事業を実施しています。

④ はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、精神的及び肉体的疲労の回復を促し、心身機能の維持向上を図るため、はり・きゅう・マッサージ費用（医療保険適用外のもの）の一部を助成する事業を実施しています。

(2) 社会参加の促進と地域づくり

① 高齢者の就業支援

高齢者が働くことを通じて生きがいと健康を得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織である阿南市シルバー人材センターと連携し、就業を通じた社会参加の支援を行います。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市シルバー人材センターの会員数	720人	750人	750人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度 (R6.9 現在)
阿南市シルバー人材センターの会員数	700人	638人

② セニヤクラブ（老人クラブ）活動の促進

地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として活動しているセニヤクラブに対して支援します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市セニヤクラブの会員数	3,000人	3,000人	3,000人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度 (R6.12 現在)
阿南市セニヤクラブの会員数	3,032人	2,749人

③ 生涯学習等の支援

地域の公民館における市民向けの講座の開講や阿南市社会福祉協議会が運営する「徳島県シルバー大学校」事業等、多様な実施主体と連携した学習の機会の創出や情報提供を行っています。

④ 災害時ボランティア活動の支援

阿南市シルバー人材センター及び阿南市社会福祉協議会と連携し、市内において地震・豪雨等により甚大な被害が発生した場合における災害時ボランティア活動について、元気な高齢者がそれぞれの役割において地域貢献できるよう、防災訓練の参加等を推進しています。

⑤ 高齢者福祉特定回数乗車（船）券の交付

70歳以上の高齢者の外出の促進を図るとともに、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう支援するため、市内の路線バスで利用できる無料バスフリー券と伊島地区の住民を対象とした連絡船で利用できる無料船券を交付する事業。

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度 (R6.12 現在)
バス券利用枚数	33,653 枚	25,849 枚
伊島船利用枚数	1,109 枚	972 枚
利用枚数合計	34,762 枚	26,821 枚

⑥高齢者タクシー利用助成（阿南市高齢者いきいきタクシー券）

70歳以上の高齢者の外出の促進を図るとともに、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できるよう支援するため、市内登録事業所で利用できるタクシー券を交付し、タクシー利用料の一部を補助する事業。（所得制限、交通手段を持たない方が対象）

※令和5年6月から開始

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
タクシー券利用枚数	12,050枚	14,226枚

⑦ 高齢者の多様な交流の場の提供

高齢者の心身の健康の増進、閉じこもりの防止、生きがいつくりの支援等を目的に、気軽に参加できる交流の場として次の施設を提供します。

施設名	施設数
阿南市老人いこいの家	15施設
阿南市老人ルーム	10施設
阿南市高齢者交流センター	1施設

⑧ 長寿者福祉金等支給事業

長年にわたり社会の発展に尽力された高齢者を敬愛し、長寿を祝福するとともに、敬老理念の普及と高齢者福祉等への関心を高めるため行う事業を実施しています。

事業名
敬老記念品贈呈（75歳以上の人）
100歳誕生日の慶祝訪問（祝状と祝金）
長寿者福祉金（77歳、88歳、100歳以上の人への慶祝訪問）
最高齢者の慶祝事業

⑨ 敬老祝賀事業

多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者福祉に対する市民の理解を深め、地域連携を促進し、高齢者福祉の向上を図るため、敬老会の開催等を実施する団体に対し、補助を行っています。

基本目標2 住み慣れた地域で支えあう体制づくり

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの中核である地域包括支援センターを中心に、様々な主体や住民同士が連携し、「地域共生社会」の実現を目指します。また、高齢者の移動支援体制の整備に取り組みます。

○阿南市地域包括支援センター運営協議会の開催状況〔令和5年度〕

開催日	議事
第1回 令和5年8月29日	令和4年度事業報告及び収支決算について 令和5年度事業計画及び収支予算について 地域包括支援センターの事業評価について
第2回 令和5年9月25日	地域包括支援センター（高齢者お世話センター）の運営の在り方について
第3回 令和6年2月13日	阿南市地域包括支援センターの事業評価（案）について 令和6年度阿南市地域包括支援センター運営基本方針（案）について 令和6年度包括的支援事業実施委託料（案）について

〔令和6年度〕

開催日	議事
第1回 令和6年7月29日	令和5年度事業報告及び決算報告について 令和6年度事業計画及び収支予算について 地域包括支援センターの事業評価について
第2回 令和6年9月25日	地域包括支援センター（高齢者お世話センター）の運営体制の整備について
第3回 令和7年2月18日 （開催予定）	阿南市地域包括支援センターの事業評価（案）について 令和7年度阿南市地域包括支援センター運営基本方針（案）について 地域包括支援センターの運営体制（案）について

(2) 生活支援サービス・高齢者福祉サービスの充実

① 介護予防・生活支援サービス事業

要支援1・2及び事業対象者（基本チェックリスト該当者）に対して多様な生活支援のニーズに対応することを目的に訪問型・通所型サービスを提供する事業

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市ご近所デイサービス事業の実施グループ数	25グループ	26グループ	26グループ
内、送迎サービス実施グループ数	10グループ	11グループ	12グループ
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の実施地区数	2地区	3地区	3地区
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の運転ボランティア登録数	30人	35人	40人
ご近所ヘルパー事業の新規ヘルパーの人数	3人	3人	3人
ご近所ヘルパー事業の利用者数	10人	15人	15人

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
阿南市ご近所デイサービス事業の実施グループ数	26グループ	26グループ
内、送迎サービス実施グループ数	9グループ	10グループ
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の実施地区数	2地区	2地区
阿南市ご近所ドライブパートナー事業の運転ボランティア登録数	29人	30人
ご近所ヘルパー事業の新規ヘルパーの人数	0人	0人
ご近所ヘルパー事業の利用者数	9人	4人

○ご近所デイサービス事業（介護予防・生活支援サービス事業：通所型サービスB）

各地区において住民主体でいきいき100歳体操やいきいき健口体操、レクリエーションなどのデイサービスを実施する事業

【地区別立ち上げ状況】 令和6年12月時点

地区名	グループ名	グループ数	送迎
富岡	○憩いご近所デイサービス（R3.9） サルビア会ご近所デイサービス（R3.9） ご近所デイサービスうしき（R4.2） 中村ご近所デイサービス（R5.9）	4	1

中野島	中原たぶのき会ご近所デイサービス (H30.5)	1	0
宝田	さわやかご近所デイサービス (R3.1)	1	0
見能林	見能林ご近所デイサービス (R4.7) 津乃峰ほっこりご近所デイサービス (R4.11)	2	0
橘		0	0
桑野	桑野ほほえみご近所デイサービス (R1.8) ○にこにこハッピーご近所デイサービス (R4.9)	2	1
長生	ご近所デイサービスやほこ (H30.5) 大原コスモスご近所デイサービス (R3.4)	2	0
大野	桶田パンジーご近所デイサービス (R4.3)	1	0
加茂谷	ご近所デイサービス午尾の滝 (R4.1)	1	0
新野	○徳信ご近所デイサービス (H30.6) ○室姫ご近所デイサービス (R3.1)	2	2
福井	○福井たけのこご近所デイサービス (R3.4)	1	1
椿	○椿・椿泊ふれ愛ご近所デイサービス (R3.8)	1	1
那賀川	○ひまわりご近所デイサービス (H30.5) ○はまかぜご近所デイサービス (H30.5) ご近所デイサービスきらら (H30.6)	3	2
羽ノ浦	○春日野ご近所デイサービス (H30.9) ○スマイルご近所デイサービス (H31.4) ご近所デイサービス古庄 (R1.12) むらさきご近所デイサービス (R2.4) ご近所デイサービス若鮎 (R2.11)	5	2
合 計		26	10

※○：送迎サービス実施団体

○阿南市ご近所ドライブパートナー事業（介護予防・生活支援サービス事業：訪問型サービスD）

公共交通空白地域において、身体機能の低下がみられ、通院や買い物等に行くための移動手段がない高齢者を対象に、介護保険事業における介護予防・日常生活支援総合事業の枠組みを活用した住民主体による移送支援サービス

【実績】

団体名	加茂谷元気なまちづくり会		たすけ愛あなん	
事業開始日	令和3年5月17日		令和4年10月1日	
対象地域	十八女町、大井町、大田井町、水井町、楠根町、深瀬町、細野町		那賀川町の一部区域（島尻、江野島、小延）	
年 度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
登録ドライバー数	13人	13人	9人	16人
利用者数	12人	12人	4人	10人

② 生活管理指導短期宿泊事業

65歳以上の高齢者で生活習慣が欠如しているひとり暮らし在宅高齢者等に対し、養護老人ホームの空き室を利用して一時的に養護し、7日以内の短期宿泊により日常生活に対する指導等を行い、基本的生活習慣の確立が図られるよう支援する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
生活管理指導短期宿泊事業の利用者数、日数	3人・20日	7人・46日

③ 生きがい活動支援事業

令和7年度から事業廃止

④ 日常生活用具給付事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者（前年度所得税非課税世帯）に対し、安心して在宅生活が継続できるよう3万円を超えない範囲内で現物給付する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
日常生活用具給付事業	4台 113,520円	4台 113,520円

⑤ 高齢者等住宅改造費助成事業

65歳以上の身体の虚弱な高齢者のいる世帯に対し、高齢者の住環境の向上を図り、在宅生活の継続を支援するため、廊下等の手すり設置・浴槽の低床化・トイレの洋式化など高齢者向きに住宅を改造する費用の一部を助成する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
高齢者等住宅改造費助成事業	1名	2名

⑥ 配食サービス事業

おおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯であって食事の調理が困難な人に対し、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに安否確認を行い、在宅生活の維持向上を支援する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
配食サービス事業の利用人数	18人	18人
配食サービス事業の配食数	591食	481食

⑦ 寝たきり高齢者見舞金支給事業

65歳以上の在宅で生活する高齢者に対し、福祉の増進に寄与することを目的に見舞金を支給する事業

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
寝たきり高齢者見舞金支給事業の申請（決定）者数	35人	40人

⑧ 家族介護用品支給事業

65歳以上の寝たきり又は認知症の状態であって、要介護状態区分が4又は5の人在宅で介護する世帯に対し、経済的負担の軽減を図るため、家族介護用品（紙おむつ等）の現物支給を行う事業（世帯全員の市民税非課税が条件）

【実績】※年度途中で休止・廃止した人を含む

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
家族介護用品支給事業	利用者数 30人	利用者数 26人

(3) 安心・安全の確保

① 小地域見守りネットワークの構築

住民に身近な小地域（概ね民生委員の担当地区ごと）を基盤とする高齢者の見守り体制（小地域見守りネットワーク）を構築し、専門職による援助が必要な場合等は、高齢者お世話センターへ円滑につながる仕組み整備するとともに、地域の中での「声かけ」や「ゆるやかな見守り」等の安否確認が行われる体制を構築しています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小地域見守りネットワークの構築割合	100%	100%	100%

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
小地域見守りネットワークの構築割合	96%	96%

② 友愛訪問活動の支援

ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消や定期的な見守りを目的に、その居宅を訪問し、世間話や日常生活における悩みごとの相談等を行う友愛訪問活動について、その活動主体であるセニヤクラブに対する支援を行い、活動の活性化を図っています。

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
セニヤクラブ数	79クラブ	74クラブ
友愛訪問員数	155人	141人

(4) 地域の支え合い体制づくり

① 生活支援体制整備事業

市が中心となって、NPO法人やボランティア、社会福祉法人、民生委員等の生活支援サービス等を担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
新たな資源・サービスの開発	1件	1件	1件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
新たな資源・サービスの開発	0件	0件

(5) 地域ケア会議の充実

① 地域ケア会議実施状況

阿南市自立支援ケア会議	自立支援・介護予防の観点を踏まえた地域ケア個別会議であり、多職種の助言を得ながら、要支援者等の生活行為の課題を解決することで自立を促し、QOL（生活の質）を向上させることを目的とします。
-------------	---

地域ケア個別会議	個別ケースの検討や課題分析を行い、地域住民や介護支援専門員からの支援困難事例等に関する情報を早期に把握します。（高齢者お世話センター主催）
小地域ケア会議	小地域の会議体において、地域に共通する地域課題の解決に向け検討を行います。
阿南市地域ケア推進会議	個別ケースの検討により把握された地域課題について、生活支援コーディネーターと連携し、その解決に向けた協議を行うことで、地域に不足する資源の開発や地域包括ケアシステムの構築に向けた施策を推進します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自立支援ケア会議	8回	8回	8回
地域ケア推進会議の開催回数 （まんなか会議の開催を含む）	2回	2回	2回
地域ケア個別会議の開催回数	45回	50回	55回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
自立支援ケア会議の開催回数	12回	6回
地域ケア推進会議の開催回数 （まんなか会議の開催を含む）	1回	2回
地域ケア個別会議の開催回数	13回	6回

(6) 権利擁護の推進

① 成年後見制度の普及・利用促進

成年後見制度が必要な者のうち、家族、親族等から支援を得られない高齢者に対し、市長が適切に成年後見制度に係る申立てを行うとともに、その際の申立てに要する費用や後見人等への報酬を助成しています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
徳島家庭裁判所阿南支部における 高齢者（65歳以上）に係る後見 等開始審判の件数	32件	36件	36件

【実績】

区 分	令和5年	令和6年
徳島家庭裁判所阿南支部における 高齢者（65歳以上）に係る後見 等開始審判の件数	25件	—

(7) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
阿南市在宅医療・介護連携推進会議の開催回数	1回	1回	1回
阿南市在宅医療・介護連携支援センターにおける相談対応件数	50件	50件	50件
阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループの開催回数	3回	3回	3回
多職種連携研修会（ケアカフェ）の参加者数	120人	120人	120人
地域単位での住民向けの講座の参加人数	50人	50人	50人
阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会の開催回数	2回	3回	3回
阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会の開催回数（各部会の開催合計数）	16回	18回	20回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
阿南市在宅医療・介護連携推進会議の開催回数	3回	0回 （R7.3月開催予定）
阿南市在宅医療・介護連携支援センターの相談件数	58件	57件
阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループの開催回数	3回	3回
多職種連携研修会（ケアカフェ）の参加者数	161人	98人
地域単位での住民向けの講座の参加人数	47人	—
阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会の開催回数	2回	2回
阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会の開催回数（各部会の開催合計数）	5回	6回

(8) 高齢者向け住まいの適切な確保

① 養護老人ホーム入所者数（各年度4月1日時点）

施設名	定員数	令和5年度	令和6年度
老人ホーム福寿荘	70人	60人	52人
養護（盲人）老人ホーム羽ノ浦荘	50人	37人	38人

② 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業

県営住宅春日野団地に整備された高齢者向け住宅30戸に入居している60歳以上の高齢者を対象に、ライフサポートアドバイザー（生活援助員）を派遣し、生活指導・相談・安否の確認、一時的な家事援助等の緊急時の対応を行い、入所者が安心して生きがいのある豊かな生活を送れるように支援する事業です。

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	30戸（30人）	26戸（27人）

第7章 認知症施策推進計画

我が国の認知症高齢者数は、令和7年に65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。こうした状況の中、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮し続けることができる社会の実現を目指すため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進しています。

(1) 認知症に対する正しい知識と理解の普及

① 認知症サポーター等養成事業

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、地域住民、企業、学校などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲での手助けをする「認知症サポーター」を養成しています。

② 認知症サポーターのステップアップ講座の開催

認知症サポーターが様々な場面で活躍することに役立つ認知症サポーター上級者育成講座（ステップアップ講）を開催し、認知症カフェやチームオレンジの活動の担い手等地域で活動できる人材を育成しています。

③ キャラバン・メイトの養成講座

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」の企画、立案、講師役を務めることができるキャラバン・メイトを養成しています。

④ 認知症ケアパス

認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中で、その進行状況にあわせて、認知症の人やその家族が、「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるか、認知症の样態に応じたサービス提供の流れを地域ごとにまとめた認知症ケアパスを作成し、配布しています。

⑤ 認知症に関する講演会

認知症に関する正しい知識と理解の普及を図るため、市民向け講演会を開催します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①認知症サポーターの養成人数	100人	100人	100人
②認知症サポーターステップアップ講座の受講者数	20人	20人	20人

③認知症サポーターキャラバン・メイトの新規養成人数	3人	5人	5人
⑤認知症に関する講演会	1回	1回	1回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
①認知症サポーターの養成人数	100人	103人
②認知症サポーターステップアップ講座の受講者数	30人	22人
③認知症サポーターキャラバン・メイトの新規養成人数	4人	5人
⑤認知症に関する講演会	0回	1回（R7.2月開催）

(2) 認知症への備えと社会参加

① 認知症カフェの実施

認知症カフェとは、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等、誰もが参加でき、カフェのようなリラックスした場所で、認知症について気楽に意見交換ができる場所です。認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域社会の実現に向けて、高齢者お世話センターに配置する認知症地域支援推進員が中心となって、各圏域における認知症カフェの実施に向けて取り組んでいます。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症カフェの設置数	5か所	6か所	7か所

※チームオレンジにおける活動を含む

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
認知症カフェの設置数	8か所	9か所

※チームオレンジにおける活動を含む

(3) 医療と介護の連携推進

① 認知症初期集中支援チーム（ファーストケアチーム）の設置

ファーストケアチームは、複数の専門家が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの相談 対応件数	15件	15件	15件

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
認知症初期集中支援チームの相談 対応件数	実12件 延144件	—

② 認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置

認知症初期集中支援チームの設置及び活動状況等について定期的に検討するとともに、認知症初期集中支援事業に関する施策を地域における医療・保健・福祉の関係機関等と一体的に推進できるよう合意形成及び連携強化を図っています。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症初期集中支援チームの検討 委員会の開催回数	1回	1回	1回

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
認知症初期集中支援チームの検討 委員会の開催回数	0回	0回

(4) 認知症にやさしいまちづくり

① チームオレンジによる活動の推進

「チームオレンジ」はステップアップ講座を受講した認知症サポーターが支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った支援をつなげる仕組みです。「チームオレンジ」の活動に対し補助金を交付する等の支援を行い、活動の普及展開に取り組んでいます。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
チームオレンジの結成状況	3か所	4か所	5か所

【実績】

区 分	令和5年度	令和6年度（R6.12現在）
チームオレンジの結成状況	5か所	5か所

② 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業

徘徊のおそれのある認知症高齢者等の情報をあらかじめ市及び消防本部に登録しておくことで、行方不明発生時における早期発見と家族等への支援を行います。また、行方不明事案が発生した場合に、「徘徊高齢者 SOS ネットワーク」を設置し、徘徊高齢者等の情報を協力関係機関に電子メールで送信するなど、早期発見・保護を目指します。

【本計画期間における目標・指標】

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の新規登録者数	10 人	10 人	10 人
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の協力事業者数	52 事業者等	54 事業者	56 事業者

【実績】

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度 (R6.12 現在)
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の新規登録者数	13 人	15 人
徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の協力事業者数	50 事業者等	51 事業者等

基本目標 3 安定的な介護保険制度の運営

利用者がサービスを安心して利用できるよう、事業者への適切な支援・助言及び指導・監査を実施することにより、利用者に必要なサービスを提供し、サービスの質の向上と業務の効率化に向けた取組を推進しています。

(1) 介護保険サービスの質の向上	①利用者の苦情、相談への対応
	②福祉サービス評価事業(第三者評価)の推進
	③介護保険事業者に対する指導・監査
	④サービス情報の提供
(2) 福祉・介護人材の確保・定着・育成及び業務効率化	①介護人材の確保・定着・育成
	②業務効率化の取組
(3) 介護保険事業の適正な運営	①要介護認定の適正化
	②ケアプラン点検
	③縦覧点検・医療情報との突合
(4) 感染症対策	①感染症の予防と感染拡大防止対策
	②サービス提供に関する対策

(1) 介護保険サービスの質の向上

① 利用者への苦情、相談への対応

介護保険サービスに関する利用者からの苦情及び相談に対し、市と関係機関が連携して相談を受け付け、対応しています。

② 福祉サービス評価事業(第三者評価)の推進

市が指定権者である地域密着型サービス事業者等に対しては、運営推進会議を設置し、適正な運営を行っているか審議及び情報共有を図っています。

③ 介護保険事業者に対する指導・監査

市が指定権者である地域密着型サービス事業者等に対し、実地による指導や集団指導を実施し、サービスの質の向上に努めている。

【実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実地指導	14事業所	31事業所	11事業所
集団指導	1回	1回	1回

④ サービス情報の提供

パンフレットを作成し、介護保険制度や介護保険に関する手続きの流れ、各種サービス、サービス事業者、保険料等の情報を提供に努めています。

(2) 福祉・介護人材の確保・定着・育成及び業務効率化

① 介護人材の確保・定着・育成

市が実施している「介護予防・生活支援サービス事業」のうち、「阿南市訪問型生活応援サービス」及び「阿南市はつらつデイサービス」については、人員等の基準を緩和し、市の実施する一定の研修修了者が、サービスに従事することを可能としており、1年に1回研修会を開催し、介護に従事する職員の人材確保に努めています。

【実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
研修開催日	—	令和6年3月4日	令和7年3月11日
研修受講者数	—	3人	

介護の仕事・就職フェアの実施

11月22日(金)に、阿南ひまわり会館にてハローワーク阿南及び徳島県社会福祉協議会と連携し「介護の仕事・就職フェア」を開催しました。第1部では、市民講座として、介護老人福祉施設悠心館の青木正繁氏に介護専門職によるミニ講座、徳島県介護支援専門員協会の湯浅雅志氏に介護への理解や関心を深めるための講座を実施し、第2部では、参加12法人及び徳島県福祉人材センターアイネットによるプレゼン後、個別就職相談及び個別面接を行いました。

約40人の参加があり、面接及び相談は延べ42人、後日面接を含めると8人の新規採用につながりました。

② 業務効率化の取組

介護サービス事業者の事務に係る負担軽減のため、申請様式・添付書類や手続きに関する簡素化、様式等の活用による標準化を推進し、業務の効率化を図っています。

(3) 介護保険事業の適正な運営

① 要介護認定の適正化

認定調査員又は認定審査会の合議体間のバラツキを是正し、要介護認定の公平・公正な審査判定に努めました。

また訪問調査に対する事後点検を全件実施し、整合性の確認を行いました。

【実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
調査員研修	県主催の新規及び	県主催の新規及び	県主催の新規及び

	現任研修を受講 (年1回)	現任研修を受講 (年1回)	現任研修を受講 (年1回)
審査会委員研修	県主催の新規及び 現任研修を受講 (年1回) 市主催の研修を 実施(年1回)	県主催の新規及び 現任研修を受講 (年1回)	県主催の新規及び 現任研修を受講 (年1回) 市主催の研修を 実施(年1回)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問調査に対する事後 点検実施件数	4,212件	4,591件	

② ケアプラン点検の実施

要介護者等の自立支援・重度化防止に向けた「介護支援専門員の自立に資するケアマネジメント」の実施を目的としてケアプラン点検を実施しました。

【実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ケアプラン点検実施件数	77件	39件	73件

③ 縦覧点検及び医療情報との突合

医療情報との突合・縦覧点検については、国民健康保険団体連合会に委託して実施しています。

(4) 感染症対策

① 感染症の予防と感染拡大防止対策

必要な感染症予防及び感染拡大防止対策を講じるよう事業所等に情報提供及び指導に努めています。

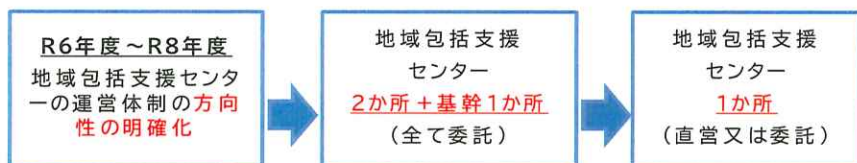
② サービス提供に関する対策

利用者が安心してサービスを利用できるよう国・県からの情報を提供するとともに市においても感染拡大防止に関する指導に努めています。

(2) 地域包括ケアシステムのあり方について

地域包括支援センターの運営体制について

1 センターの再編統合のスケジュール

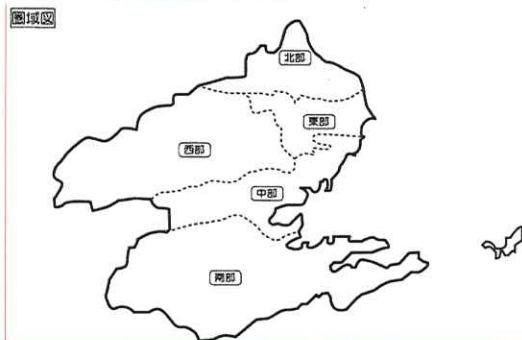


【各法人への意見聴取】 スケジュールについて

第9期			第10期			第11期		
R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度

2 センターの再編統合

26 (1) 委託型センターを2か所設置する。



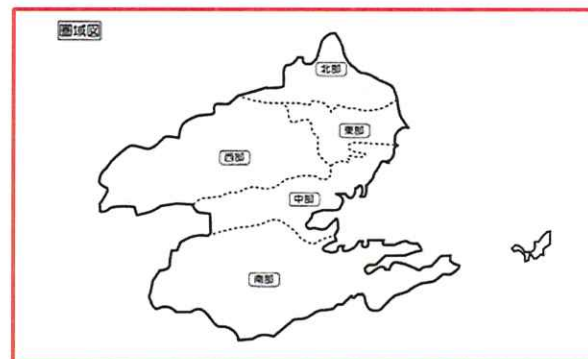
【各法人への意見聴取】 センターの設置を2か所にする場合の圏域の分け方について

【2か所にした場合の想定職員数】

令和6年4月1日時点		2か所委託にした場合	
センターの数	6か所 + 基幹型1か所	2か所 + 基幹型1か所	

高齢者数	23,529人	23,529人
2か所	委託型	委託型
職員数	・6か所の合計職員数 16.5人 (主任介護支援専門員等5人、社会福祉士等5.5人、保健師等6人) ・基幹型 1人	・2か所の合計職員数 15人 (主任介護支援専門員等5人、社会福祉士等5人、保健師等5人) ・基幹型 1人

(2) 委託型又は直営のセンターを1か所設置する。



【各法人への意見聴取】 センターの設置を1か所にする場合における設置方法(委託又は直営)の設置について

【1か所にした場合の想定職員数】

令和6年4月1日時点		1か所にした場合	
センターの数	6か所 + 基幹型1か所	1か所	
高齢者数	23,529人	23,529人	
2か所	委託型	委託型又は直営	
職員数	・6か所の合計職員数 16.5人 (主任介護支援専門員等5人、社会福祉士等5.5人、保健師等6人) ・基幹型 1人	・1か所の合計職員数 12人 (主任介護支援専門員等4人、社会福祉士等4人、保健師等4人)	

(3) 保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果について

令和7年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)評価指標に係る該当状況調査票(阿南市集計表)

保険者機能強化推進交付金 指標	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする(配点100点)	100	76	52.8	59.3
(i) 体制・取組指標群(4項目、配点64点)	64	64	45.4	49.4
1 当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。	16	16	13.3	14.4
2 介護保険事業計画の進捗状況(介護サービス見込量の計画値と実績値の乖離状況)を分析しているか。	16	16	10.3	12.6
3 自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか。	16	16	13.0	12.9
4 保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか。	16	16	8.8	9.5
(ii) 活動指標群(3項目、配点36点)	36	12	7.4	9.9
1 今年度の評価得点	12	9	2.9	4.8
2 後期高齢者数と給付費の伸び率の比較	12	3	4.5	4.8
3 PFS(成果連動型民間委託契約方式)による委託事業数	12	0	0.0	0.3
目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する(配点100点)	100	60	58.3	65.4
(i) 体制・取組指標群(2項目、配点68点)	68	44	35.4	47.3
1 介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか。	32	32	15.0	23.5
2 介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか。	36	12	20.4	23.8
(ii) 活動指標群(2項目、配点32点)	32	16	22.9	18.1
1 ケアプラン点検の実施割合	16	0	8.2	6.4
2 医療情報との突合の実施割合	16	16	14.7	11.7
目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する(配点100点)	100	61	33.2	46.6
(i) 体制・取組指標群(2項目、配点64点)	64	58	28.4	38.8
1 地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県等と連携しつつ、必要な取組を実施しているか。	30	30	11.2	17.2
2 地域におけるサービス提供体制の確保や、自立支援・重度化防止、介護人材確保に関する施策等の推進に当たって、庁内・庁外における関係者との連携体制が確保されているか。	34	28	17.2	21.6
(ii) 活動指標群(3項目、配点36点)	36	3	4.8	7.8
1 高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数	12	0	0.8	1.8
2 高齢者人口当たりの介護人材(介護支援専門員を除く。)の定着、資質向上を目的とした研修の修了者数	12	0	0.3	2.1
3 介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修(介護支援専門員法定研修を除く。)の総実施日数	12	3	3.7	3.9

保険者機能強化推進交付金 指標	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（配点100点）	100	50	45.0	47.9
成果指標群（5項目、配点100点）	100	50	45.0	47.9
1 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	15	11.9	10.6
1 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅱ） 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	0	4.8	8.0
1 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	15	11.9	10.0
1 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅱ） 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	5	5.8	8.0
1 健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	20	15	10.6	11.3
保険者機能強化推進交付金 合計	400	247	189.3	219.2

介護保険保険者努力支援交付金 指標	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する（配点100点）	100	56	53.4	55.2
(i) 体制・取組指標群（7項目、配点52点）	52	34	33.8	35.1
1 介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の実施に当たって、データを活用して課題の把握を行っているか。	6	2	4.3	4.6
2 通いの場やボランティア活動その他の介護予防に資する取組の推進を図るため、アウトリーチ等の取組を実施しているか。	9	7	5.5	5.8
3 介護予防等と保健事業を一体的に実施しているか。	7	5	5.8	5.8
4 通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。	7	3	5.4	5.1
5 地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。	7	4	4.2	4.3
6 生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確保されているか。	9	9	5.8	5.9
7 多様なサービスの活用の推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。	7	4	2.8	3.6
(ii) 活動指標群（9項目、配点48点）	48	22	19.6	20.1
1 高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の人数	4	1	1.6	1.6
2 地域包括支援センター事業評価の達成状況	12	4	5.8	5.1
3 地域ケア会議における個別事例の検討割合（個別事例の検討件数／受給者数）	4	0	1.4	1.6

介護保険保険者努力支援交付金 指標	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
4 通いの場への65 歳以上高齢者の参加率	8	8	3.0	3.2
5 高齢者のポイント事業への参加率	4	2	1.0	1.1
6 通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合	4	0	1.3	1.2
7 高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数	4	2	1.6	1.6
8 生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合	4	1	2.1	2.5
9 総合事業における多様なサービスの実施状況	4	4	1.8	2.2
目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する（配点100点）	100	72	40.7	46.5
（i） 体制・取組指標群（3項目、配点64点）	64	54	30.1	33.3
1 認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援を行っているか。	25	25	11.7	14.0
2 認知症状のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。	19	19	15.5	14.9
3 難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているか。	20	10	2.9	4.4
（ii） 活動指標群（2項目、配点36点）	36	18	10.6	13.2
1 高齢者人口当たりの認知症サポーター数	12	0	3.1	4.8
2 高齢者人口当たりの認知症サポーターステップアップ講座修了者数	12	6	2.5	2.0
3 認知症地域支援推進員が行っている業務の状況	12	12	5.0	6.4
目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する（配点100点）	100	76	61.1	66.2
（i） 体制・取組指標群（3項目、配点68点）	68	68	49.3	53.4
1 地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。	26	26	16.5	18.0
2 在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、相談支援、研修会の開催といった具体的取組を行っているか。	21	21	16.6	17.8
3 患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。	21	21	16.2	17.6
（ii） 活動指標群（2項目、配点32点）	32	8	11.8	12.8
1 入退院支援の実施状況	16	8	7.0	6.4
2 人生の最終段階における支援の実施状況	16	0	4.8	6.4
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（配点100点）	100	50	45.0	47.9
成果指標群（5項目、配点100点）	100	50	45.0	47.9
1 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようなになっているか。	20	15	11.9	10.6

介護保険保険者努力支援交付金 指標	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
1 軽度【要介護1・2】（平均要介護度の変化Ⅱ） 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	0	4.8	8.0
1 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	15	11.9	10.0
1 中重度【要介護3～5】（平均要介護度の変化Ⅱ） 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	20	5	5.8	8.0
1 健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	20	15	10.6	11.3
介護保険保険者努力支援交付金 合計	400	254	200.2	215.8

保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金 合計	800	501	389.5	435.0
---------------------------------	-----	-----	-------	-------

阿南市の順位及び交付額

全国順位	452 / 1,741
徳島県内順位	2 / 24
保険者機能強化推進交付金交付額	4,950 千円
介護保険保険者努力支援交付金交付額	13,323 千円

《参考》 令和6年度の状況

	配点	阿南市 得点	徳島県 平均	全国 平均
保険者機能強化推進交付金	400	155	171.3	205.7
介護保険保険者努力支援交付金	400	239	203.3	216.7
合 計	800	394	374.6	422.4

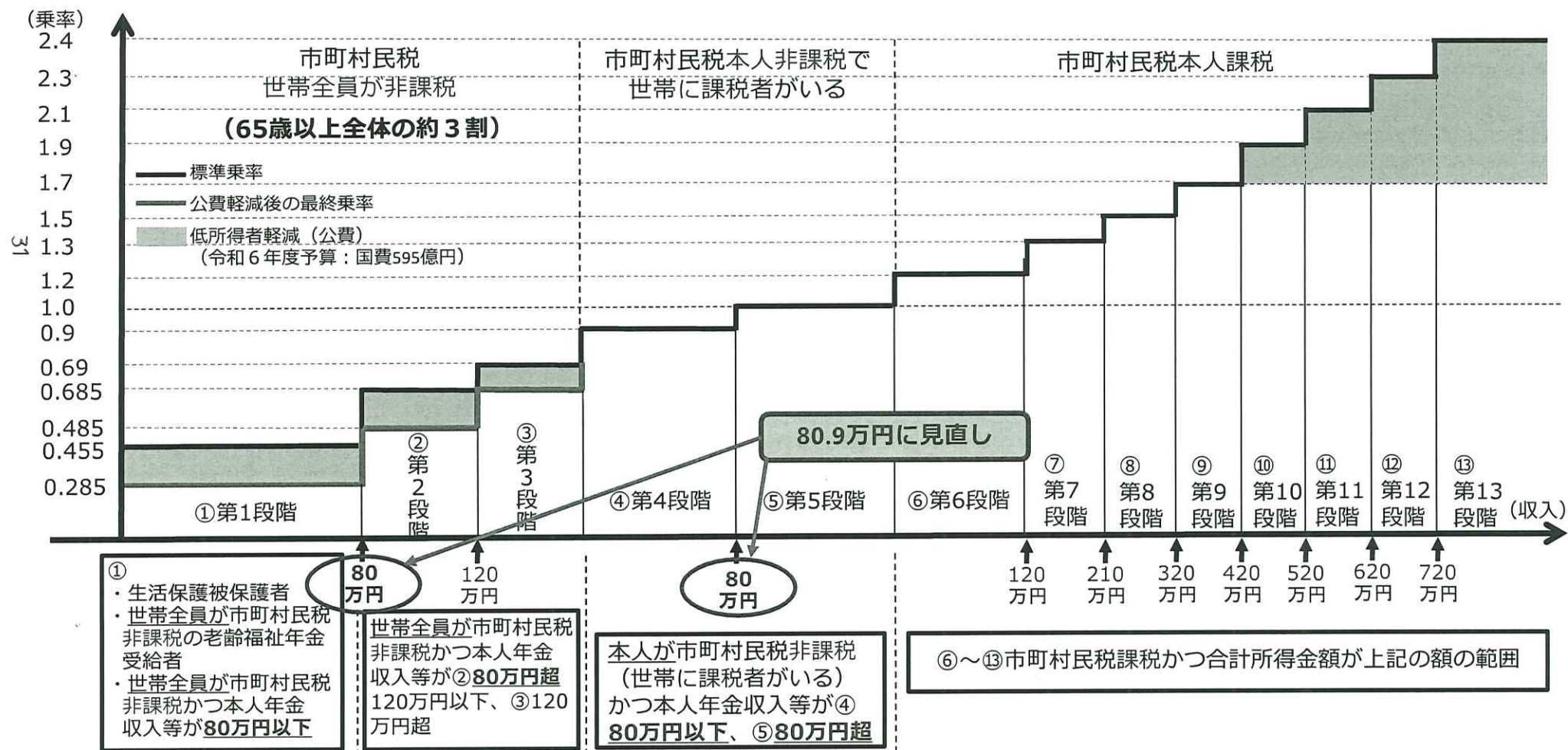
阿南市の順位及び交付額

全国順位	1112 / 1,741
徳島県内順位	10 / 24
保険者機能強化推進交付金交付額	4,324 千円
介護保険保険者努力支援交付金交付額	12,118 千円

介護保険料等における基準額の調整について

R6. 12. 23厚生労働省 社会保障審議会介護保険部会資料

- 介護保険料の算定において、老齢基礎年金（満額）の支給額相当として、**年金収入等80万円**を基準として設定している。
（第1、第2、第4、第5段階） ※ 基準設定時（平成17年度）の老齢基礎年金（満額）の支給額：794,500円/年
- 今般、令和6年（1～12月）の老齢基礎年金（満額）の支給額が809,000円となり、80万円を超えることを踏まえ、基準を見直し、**年金収入等809,000円を基準にすることとする**。（令和7年4月施行予定）
- ※ 高額介護（予防）サービス費、補足給付における年金収入等80万円の基準についても、同様に措置（令和7年8月施行予定）



**阿南市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定審議会委員名簿**

（任期：令和5年10月1日から令和8年9月30日）

	氏名	役職	所属団体等
1	福 永 亨	会 長	地域包括支援センター運営協議会
2	紅 露 清 恵	会 長	阿南市婦人連合会
3	渡 部 友 子	委員長	阿南市議会文教厚生委員会
4	撫 養 千 尋	会 長	阿南市民生・児童委員協議会
5	米 田 勉	会 長	社会福祉法人 阿南市社会福祉協議会
6	片 山 美 幸	事務局長	公益社団法人 阿南市シルバー人材センター
7	加茂 彌代次	副会長	阿南市セニヤクラブ連合会
8	笠 井 章 夫	会 長	阿南市身体障害者連合会
9	半 瀬 恒 夫	園 長	養護老人ホーム福寿荘
10	助 石 浩 章	施設長	特別養護老人ホーム阿南荘
11	木 村 賢 徳	会 長	地域密着型サービス運営協議会
12	郡 尋 香	副部長	阿南保健所
13	三 谷 裕 昭		阿南市医師会
14	國 清 憲 志	副会長	阿南市那賀郡歯科医師会
15	井 原 英 樹	事務長	阿南医療センター
16	原 田 昌 彦	会 長	阿南市同和会
17	西 岡 安 夫		部落解放同盟阿南ブロック連絡協議会
18	林 朋 代	会 員	公益社団法人 認知症の人と家族の会徳島県支部
19	西 野 貞 江	代 表	ひまわりご近所デイサービス
20	白 山 靖 彦	教 授	徳島大学大学院医歯薬学研究部

*順不同